

Market Watching

発表日: 2018 年 12 月 17 日(月)

年末年始の相場はFOMC次第(マーケットウィークリー)

～期待インフレ率のコントロールに自信があるなら利上げ予想下方修正も～

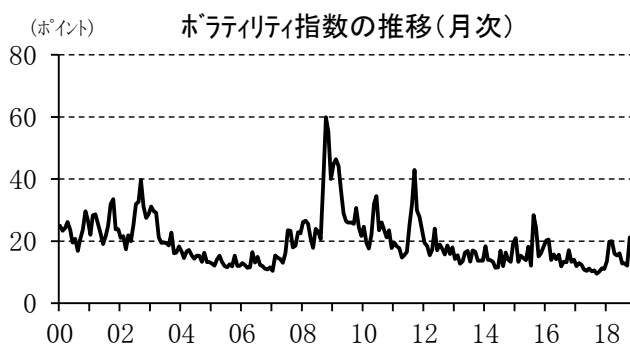
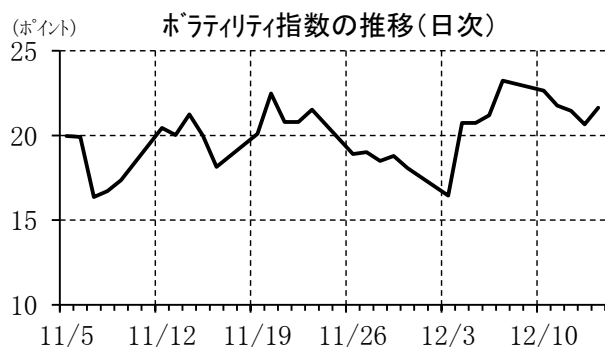
第一生命経済研究所 調査研究本部 経済調査部

取締役・首席エコノミスト 嶋峰 義清 (Tel: 03-5221-4521)

【先週の市場動向】

先週の経済指標・金融政策

発表日	経済指標・会合	結果	コンセンサス	前回	備考
12月10日(月)	日本: 実質GDP (7-9月2次速報値)	▲2.5%	▲2.0%	▲1.2%	前期比年率
	日本: 国際収支統計 (10月)・経常収支	+13,099	+12,627	+18,216	億円、原数値
	日本: 景気ウォッチャー調査 (11月)・先行き判断DI	52.2	50.8	50.6	
12月11日(火)	日本: 法人企業景気予測調査 (10-12月)	+5.5		+6.5	BSI大企業製造業
12月12日(水)	日本: 企業物価指数 (11月)	▲0.3%	▲0.1%	+0.3%	前月比
	日本: 機械受注統計 (10月)・船電除く民需	+7.6%	+9.7%	▲18.3%	前年比
	米国: 消費者物価指数 (11月)・総合	+2.2%	+2.2%	+2.5%	前年比
	・コア	+2.2%	+2.2%	+2.1%	前年比
	ブラジル: 金融政策委員会	6.50%	6.50%	6.50%	政策金利 (Selic)
12月13日(木)	フィリピン: 金融政策決定会合	4.75%	4.75%	4.75%	翌日物リバースレボ金利
	スイス: 金融政策委員会	▲0.75%	▲0.75%	▲0.75%	SNB要求払預金金利
	ノルウェー: 金融政策委員会	0.75%	0.75%	0.75%	中銀預金金利
	トルコ: 金融政策委員会	24.00%	24.00%	24.00%	1週間物レボ金利
	ユーロ: ECB理事会・ECB主要政策金利	0.00%	0.00%	0.00%	
	・ECB預金ファシリティ金利	▲0.40%	▲0.40%	▲0.40%	
12月14日(金)	日本: 日銀短観 (12月)・大企業製造業業況判断	+19	+18	+19	DI
	・大企業非製造業業況判断	+24	+21	+22	DI
	中国: 鉱工業生産 (11月)	+5.4%	+5.9%	+5.9%	前年比
	中国: 小売売上高 (11月)	+8.1%	+8.8%	+8.6%	前年比
	中国: 固定資産投資 (11月)	+5.9%	+5.8%	+5.7%	年初来前年比
	ユーロ: PMI製造業景気指数 (12月)	51.4	51.8	51.8	
	米国: 小売売上高 (11月)・全体	+0.2%	+0.1%	+0.8%	前月比
	・除自動車	+0.2%	+0.2%	+0.7%	前月比
	米国: 鉱工業生産指数 (11月)	+0.6%	+0.3%	+0.1%	前月比
12月15日(土)	—				
12月16日(日)	—				



主要市場の動向

	直近値	変化			移動平均値		
		1週前比	1月前比	1年前比	25日	75日	200日
10年債利回り							
米国	2.890	+4.4	▲13.3	+92.2	2.803	2.818	2.620
日本	0.025	▲3.0	▲8.0	▲2.0	0.079	0.110	0.077
ドイツ	0.252	+0.3	▲14.6	▲6.4	0.322	0.407	0.433
豪州	2.462	+1.7	▲23.8	▲9.3	2.593	2.642	2.673
株価							
NYダウ	24100.51	▲1.2	▲3.9	▲1.7	24881	25540	25082
日経平均	21374.83	▲1.4	▲2.2	▲5.8	21802	22489	22347
ユーロSTOXX50	3092.60	+1.1	▲3.5	▲13.0	3144	3241	3375
上海総合	2593.74	▲0.5	▲1.5	▲21.2	2624	2661	2869
為替相場							
ドル/円	113.38	+0.6	▲0.2	+0.9	113.29	112.82	110.77
ユーロ/円	128.14	▲0.2	▲0.3	▲3.2	128.56	129.46	129.70
豪ドル/円	81.36	+0.2	▲1.0	▲5.6	82.15	81.13	81.85
ユーロ/ドル	1.1304	▲0.7	▲0.1	▲4.0	1.135	1.148	1.171
商品市況							
WTI	51.20	▲2.7	▲9.0	▲10.2	53.25	63.93	66.38
金	1237	▲0.8	+2.2	▲1.3	1228	1216	1254

(注) 10年債利回りの変化は金利差 (bp)。その他は変化率 (%)

為替相場の変化は、ドル/円、ユーロ/円、豪ドル/円は+が円安、▲が円高。

ユーロ/ドルは+がユーロ高、▲がユーロ安。

先週 (12/10～12/14) の金融市場は、中国を巡る動向が市場の関心の中心となり、関連報道に一喜一憂する展開となった。米中貿易問題に関しても、進展を示唆する報道があった後には再び後退を示唆する報道が出るなど、確実な情報が不足するなかで関係者のコメントなどや憶測に市場は振り回された。また、中国国内の経済指標が総じて冴えない内容で、同国経済に対する懸念が改めて高まったことから、日米株などは前週末水準を下回って越週した。

今週は (週内イベント予定表は次頁)、FOMCに最大の注目が集まる。前回利上げを行った9月FOMCでは、年内にもう一回の利上げを予想するFOMCメンバーが16名中12名に達した。その後の経済動向は大きく変化していないことから、0.25%の利上げが行われるとの見方が圧倒的多数となっている。注目は声明文と3ヶ月ぶりの公表となる先行きの金利見通しだ。足元の金利水準についてパウエルFRB議長が「中立金利をわずかに下回る」と発言したことを受け、市場では将来の利上げ回数やテンポにも変化が出るとの見方が出ている。そうした市場の見方に近づくような声明文や将来予想が確認されれば、金利上昇による景気減速リスクは後退するとの見方が強まり、強い株高要因となろう。逆に、将来予想に特段の変化がなければ (米景気の強さから考えればその可能性は十分にある)、市場の期待は行き過ぎたとの見方から景気にネガティブな見方が強まるリスクがある。米物価を取り巻く環境は、原油価格の下落によって物価全体の伸びを押し下げる力が働く一方で、需給の逼迫に伴ってコア物価の上昇圧力が減衰する状況にはない。FOMCメンバーによる利上げ予想が下方修正されるのであれば、場合によっては市場の期待インフレを押し上げるリスクもある。下方修正するのであれば、それはFRBが市場の期待インフレ率のコントロールに自信があることの表れともいえる。FOMCの結果次第で年末から年明けの市場動向は大きく異なるものとなろう。

【今週のマーケット環境】

今週の経済指標・金融政策

発表日	経済指標・会合	注目度	コンセンサス	前回	備考
12月17日(月)	—				
12月18日(火)	ドイツ：ifo景気動向指数（12月） 米国：住宅着工件数（11月）	★ ★	101.7 123.0	102.0 122.8	万件
12月19日(水)	日本：貿易統計（11月）・輸出 ・輸入 ・貿易収支 タイ：金融政策委員会 英国：消費者物価指数（11月） 米国：中古住宅販売件数（10月） 米国：FOMC・上限金利 ・下限金利 ・パウエルFRB議長記者会見	★★ ★ ★ ★★★★ ★★★★ ★★★★	+1.2% +12.0% ▲6,300 1.75% +2.3% 520 2.50% 2.25%	+8.2 +19.9% ▲4,501 1.50% +2.4% 522 2.25% 2.00%	前年比 前年比 億円 翌日物レボ金利 前年比 万件 FF金利 FF金利
12月20日(木)	日本：日銀金融政策決定会合・政策金利 ・10年債利回り操作目標 ・黒田総裁記者会見 台湾：金融政策委員会 インドネシア：金融政策決定会合 NZ：実質GDP（7-9月） スウェーデン：金融政策委員会 英国：金融政策決定会合・政策金利 米国：フィッテラルフィア連銀製造業景況感指数（12月） メキシコ：金融政策決定会合	★★★★ ★ ★ ★	▲0.10% 0.00% 1.375% 6.00% +2.8% ▲0.50% 0.75% +15.0 8.25%	▲0.10% 0.00% 1.375% 6.00% +2.8% ▲0.50% 0.75% +12.9 8.00%	日銀当座預金残高金利 10年物国債利回り 公定歩合 7日物リバースレボ金利 前年比 レボ金利 翌日物貸出金利 ポイント 銀行翌日物金利
12月21日(金)	日本：全国消費者物価指数（11月）・総合 ・除生鮮食品 米国：実質GDP確定値（7-9月期） 米国：耐久財受注（11月）・全体 ・非国防資本財（除航空機） 米国：個人所得支出統計（11月）・実質個人消費 ・PCEデフレータ	★ ★★ ★ ★ ★	+0.8% +1.0% +3.5% +2.0% +0.2% +0.3% +1.8%	+1.4% +1.0% +3.5% ▲4.3% 0.0% +0.4% +2.0%	前年比 前年比 前期比年率 前月比 前月比 前月比 前年比
12月22日(土)	—				
12月23日(日)	—				

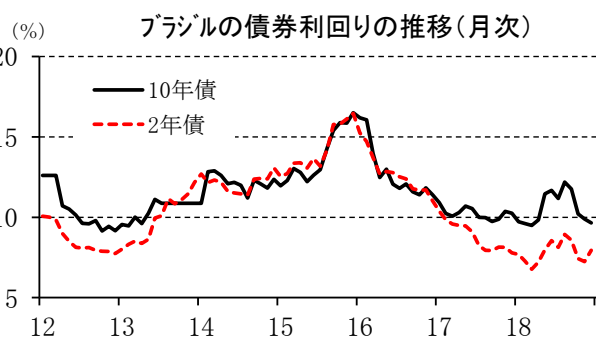
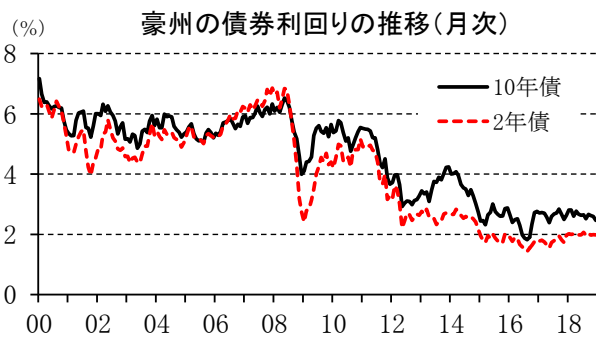
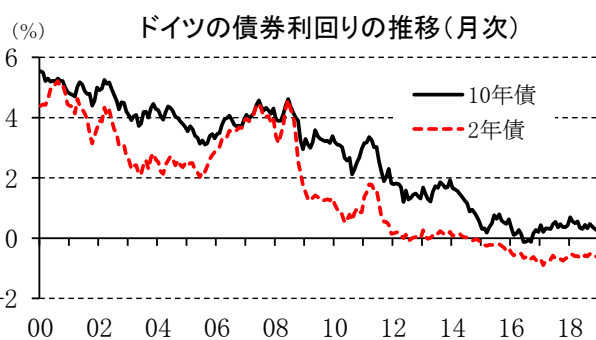
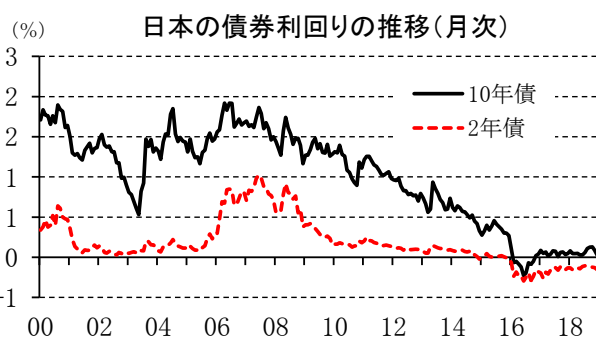
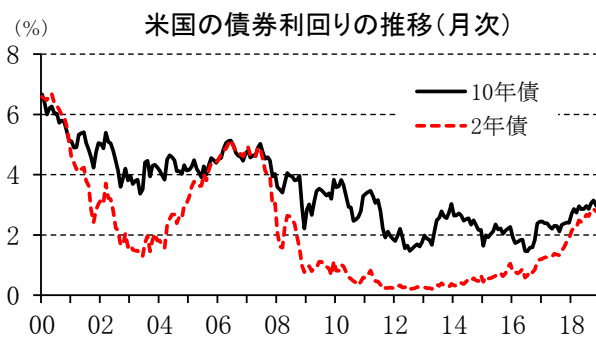
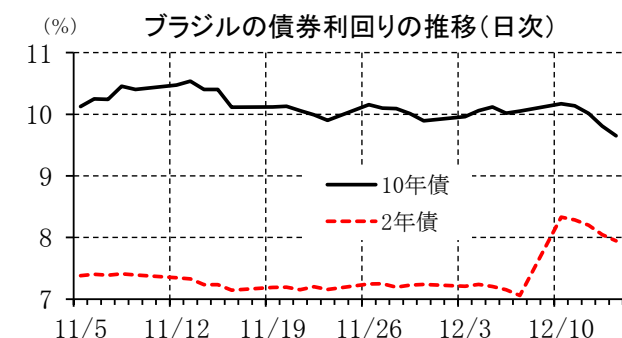
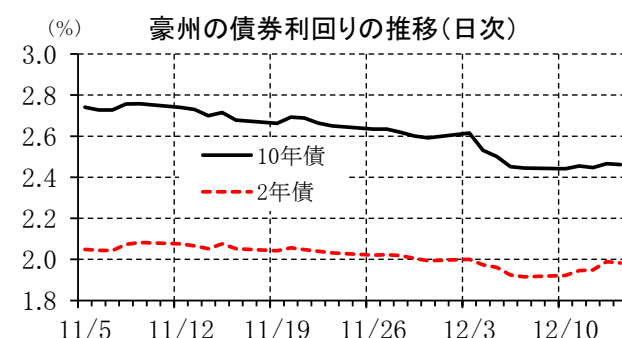
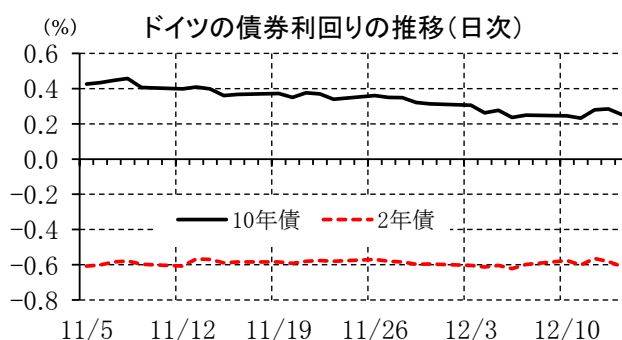
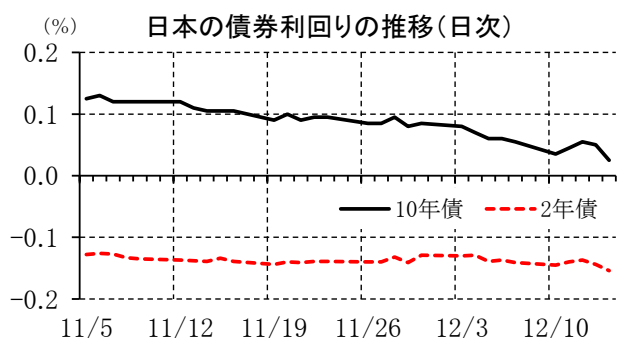
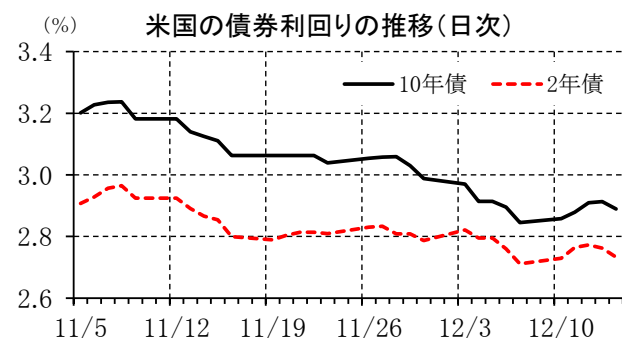
(注) 市場コンセンサスは各種ベンダー調査に基づく。注目度は筆者。

その他の注目イベント・材料

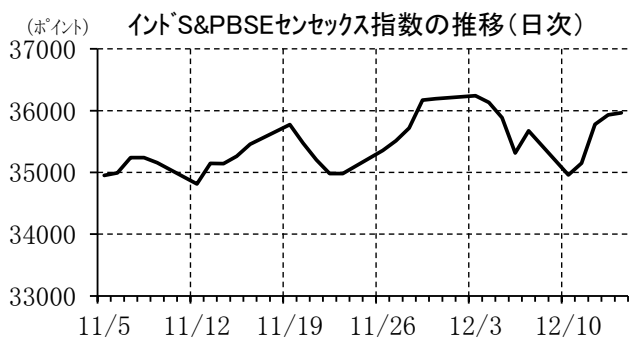
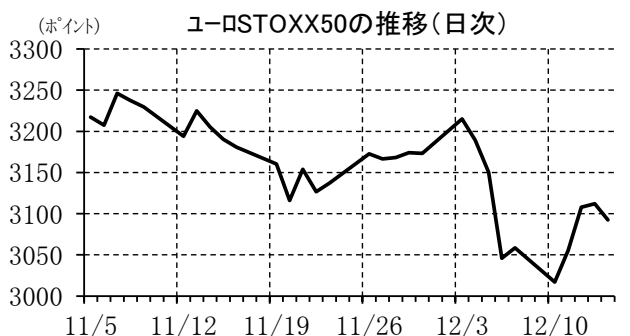
発表日	イベント	注目度	備考
12月17日(月)	—		
12月18日(火)	—		
12月19日(水)	—		
12月20日(木)	ロシア：プーチン大統領年次記者会見	★	
12月21日(金)	米国：暫定予算期限	★	
12月22日(土)	—		
12月23日(日)	—		

(注) 各種報道等による。注目度は筆者。

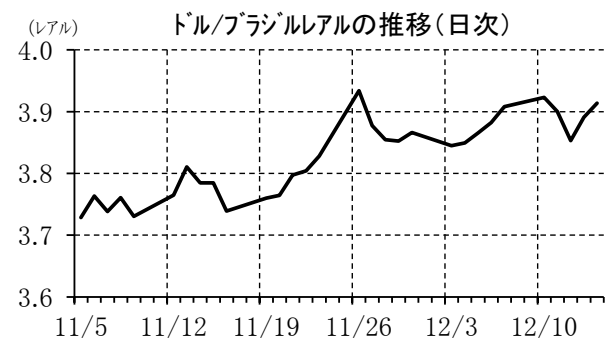
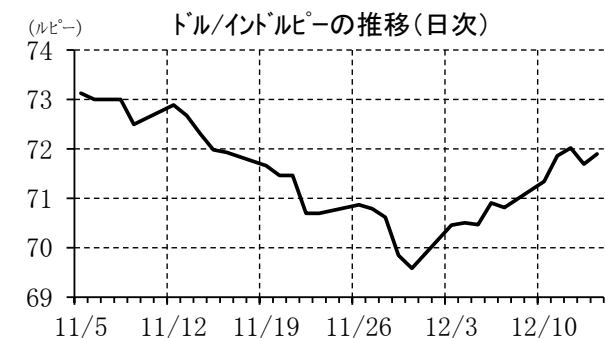
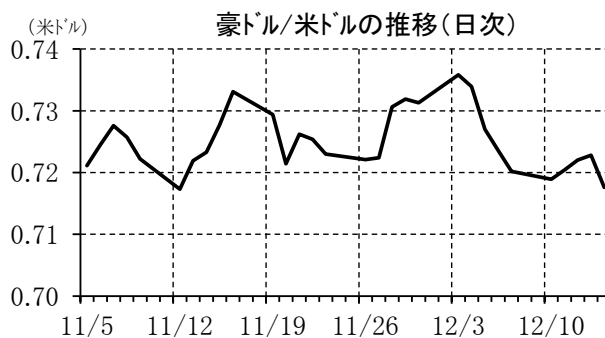
【債券利回り】



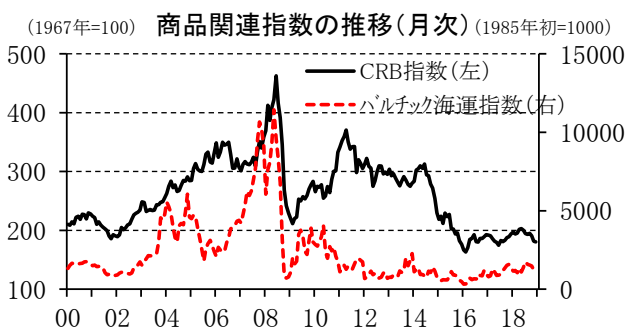
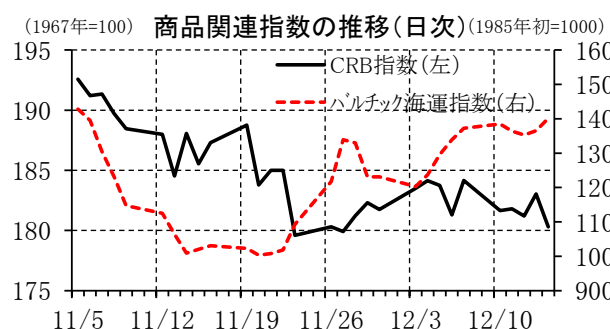
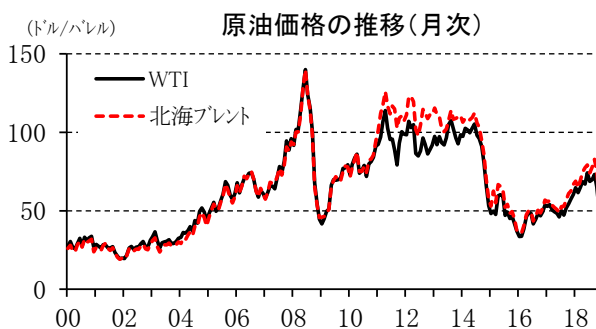
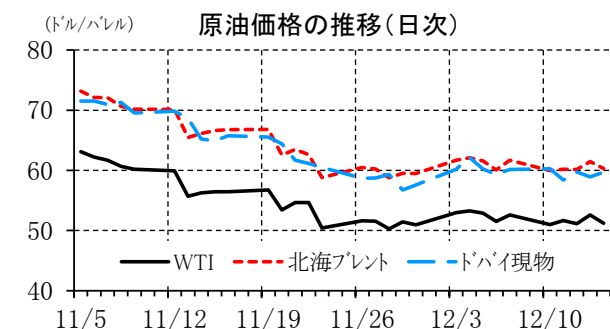
【株価指数】



【為替相場】



【商品市況】



本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所調査研究本部経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命保険ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。

